
スラブ・ユーラシアの変動
その社会・文化的諸相

**Socio-Cultural Dimensions of the Changes
in the Slavic-Eurasian World**

Edited by Tetsuo Mochizuki

平成8年度冬期研究報告会（1997年1月30日～2月1日）報告集
Proceedings of SRC Winter Symposium (January 30 - February 1, 1997)

SLAVIC RESEARCH CENTER
HOKKAIDO UNIVERSITY
JUNE 1997, SAPPORO

北海道大学
スラブ研究センター
札幌 1997年6月

ロシアと CIS 諸国との貿易に関する 統計分析

田 畑 伸一郎

はじめに

本稿では、旧ソ連における企業間取引関係の実態を明らかにするという共通テーマの一環として、ロシアと CIS 諸国との貿易に関する統計を分析する。とくに、1995 年以降のロシアと CIS 諸国との貿易（とりわけロシアの輸入）の著しい増加という新しい趨勢が検討の対象となる。すなわち、ソ連の崩壊後、絶対的にも相対的にも（外国貿易と比べてという意味で）縮小したロシアと CIS 諸国との貿易に見られるようになった新しい趨勢について、その原因を探るというのが本稿の主たる目的である。この新しい趨勢が旧ソ連の企業間取引の復活を意味するものなのか、それともソ連崩壊前とは異なる取引関係が生じつつあるのかについて検討する。

本稿では、この目的のためにロシアと CIS 諸国との貿易に関する統計を利用する。これまで、この統計に関する十分な検討が行われていないので、まずそれを次節で行う。

なお、本稿において、「CIS 諸国」とは旧ソ連構成共和国からバルト三国を除いた 12 カ国を意味し、「外国」とは CIS 諸国を除く国々を意味するものとする。

I. 貿易データ

本稿の分析には、ロシア統計国家委員会の貿易統計とロシア国家関税委員会の通関統計を用いる。この 2 つが現時点でロシアの貿易に関する基本資料である。

ロシアの貿易統計の作成は、事実上、1992 年から始まった。1985～1991 年のデータも得られるが、1991 年以前のデータは、ソ連全体のデータに基づいて何らかの形で推計した仮設的データである（詳しくは、Belkindas & Ivanova, 1995, Kuboniwa, 1994, Tabata, 1994 参照）。

1992～1993 年のロシアの貿易データとしては、ロシア統計国家委員会の貿易統計があるだけである。ロシアおよびソ連では、従来、企業からの報告に基づいて貿易統計が作成され、通関統計は作成されていなかった。ロシア国家関税委員会によって通関統計の作成が始められたのは、1994 年初めのことである。そして、通関統計を掲載した『通関統計集』（*Tamozhennaia statistika vneshnei torgovli Rossiiskoi Federatsii*）が四半期報として 1994 年第 1 四半期から発行されるよう

になった (Tabata, 1994, p. 448)。1994 年以降、ロシア統計国家委員会の貿易統計もこの通関統計に基づくようになったが、後述するようないくつかの修正が通関統計に加えられている。なお、ロシアの貿易統計の商品分類は、1992 年から「商品の名称および分類についての統一システム (Harmonized Commodity Description and Coding System)」に基づく分類に移行しており、通関統計もこの国際的な統一システムに基づいている (op. cit., pp. 442-446)。

通関統計の作成は、貿易データに関してもう 1 つの大きな改善をもたらした。それは、対外国貿易と対 CIS 貿易の統計が統合されたことである。ロシア統計国家委員会の貿易統計は、1992 年以降、外国との貿易はドル建て、CIS 諸国との貿易はルーブル建てで作成・公表されていた。この 2 つの貿易は制度的にも全く異なる形で行われていたから (決済、価格等々)、統計上の区別は実態を反映したものであった。結果として、外国と CIS 諸国を含めた貿易総額というデータは存在しなかった。他方、通関統計は、いずれの貿易についてもドル建てで作成された。そして、ロシア統計国家委員会の方も、Rossiiskii (1995, p. 429) のなかで初めて、CIS 諸国との貿易について 1992～1994 年のドル建てデータを公表したのである。このうち 1994 年のデータは、通関統計に基づいているようであるが、1992～1993 年のドル建てデータは、ルーブル建てデータを公定レートで機械的に換算したもののようである。対 CIS 貿易の決済、価格などの面での制度化が 1992～1993 年にそれほど進展していなかったことを考慮すると、1992～1993 年の対 CIS 貿易データはかなり仮設的なものであると考えられる。分析に耐え得るような対 CIS 貿易データが整備されるのは、通関統計が作成されるようになった 1994 年以降であると言える。

Metodologicheskie (1996, pp. 420-421) によれば、ロシア統計国家委員会の貿易統計においては、通関統計に対して次の 6 点の修正が加えられている。このうち、①～③は通関統計では部分的にしか捕捉されていない輸出だけに関わる修正であり、④～⑥は通関統計で全く捕捉されていない輸出入に関する修正である。

①魚・水産物。この輸出の 9 割は、公海上あるいは外国の港で行われていると記されており、これらが通関統計で捕捉されていない。この点については、『通関統計集』にも明記されている (Tamozhennaia, 1996c, pp. 3, 26)。

②原油。

③天然ガス。②と③についてはパイプライン輸送による輸出が通関統計で十分に捕捉されていないと記されている。『通関統計集』には天然ガスの価格に関する注があるだけで、“ロシア統計国家委員会の貿易統計とそれほど変わらないデータが掲載されているが、ロシア統計国家委員会の方で追加修正を行っていることが、ロシア統計国家委員会発行の月別統計集から推測できる。”²

④関税同盟国との貿易。これは現時点ではベラルーシとの貿易のみに関係する。1995 年 7 月以降、ベラルーシとの貿易について通関制度が廃止されたため、通関統計もなくなった。³ 1995 年第 3 四半期以降の『通関統計集』では、対ベラルーシ輸出入総額についてはロシア統計国家委員会のデータ (企業報告に基づくデータ) が利用されるようになったが (Tamozhennaia, 1996a, pp. 3, 6)、対ベラルーシ貿易の商品別データは掲載されなくなった。⁴

⑤非組織化貿易 (neorganizovannaia trgovlia)。これについては、非組織化輸入の定義が、

Metodologicheskies (1996, p. 419) に与えられている。それによると、非組織化輸入とは、ロシア国内市場での販売を目的とする個人（居住者および非居住者）による国内への合法的な商品搬入である。非組織化輸入の推計は、特定国（担ぎ屋貿易の対象国）からの外国人の入国者数および特定国へのロシア人の出国者数に1人当たり商品持ち込み免税限度額をかけて計算される。⁴⁵ GDP統計作成に関する情報（Goskomstat RF & WB, 1995a, pp. 110, 148, 1995b, pp. 78-79, 104）によれば、特定国とは、中国、トルコ、ベトナム、インド、ポーランドであり、免税限度額は2000ドルである。⁴⁶ この定義から、非組織化貿易はあくまでも合法的な貿易であることが確認される。しかし、CIS諸国からの非組織化輸入がどの程度把握されているのか、非組織化輸出がどのように推計されているのかについては説明がない。なお、『通関統計集』には、非組織化貿易が含まれないと明記されている（*Tamozhennia*, 1996a, p. 3）。

⑥燃料、食糧などについての外国の船舶・航空機・自動車への販売とロシアの船舶・航空機・自動車による外国での購入。これについては、『通関統計集』にはとくに記載がない。

以上の6つの修正項目については、⑤を除いて、*Metodologicheskies* (1996) には詳しい推計方法が記載されていない。⁴⁷

ロシア統計国家委員会は、1993年以降、非組織化貿易を含むデータと含まないデータを公表している。第1表から、非組織化貿易額は1995年に輸入総額の4分の1近くに達したことが分かる。また、非組織化貿易を含まない貿易額は、通関統計データにかなり近似し、輸入についてはほぼ一致していることも分かる。若干の違いは、上記の①～③、⑥（輸入については⑥のみ）を反映したものと考えられる。なお、輸出については、外国への非組織化輸出のデータは最近の統計集では得られなくなっている。また、当然とも言えるが、非組織化貿易の国別あるいは商品別データは得られない。

以上述べたことから、現時点では、ロシアの貿易については通関統計がもっとも重要な資料であることが分かる。ロシア統計国家委員会の貿易統計もほぼ全面的にこれに依拠しているのである。また、従来は、ロシア統計国家委員会が毎年『貿易統計集』を発行していたが（詳しくは、Tabata, 1994参照）、『通関統計集』が発行されるようになった1994年以降、『貿易統計集』は発行されていないようである。⁴⁸ このため、年あるいは四半期を単位として国別商品別貿易データを用いた詳しい分析を行う場合には、『通関統計集』を利用することになる。しかし、以下の3つの点に関しては、ロシア統計国家委員会の貿易統計を使わざるを得ない。第1に、月別に分析する場合には、速報性という点からも、ロシア統計国家委員会発行の毎月の経済実績統計集（タイトルは *Sotsial'no-ekonomicheskoe polozhenie Rossii* あるいは *Ekonomika Rossii*）を使うことになる。⁴⁹ 第2に、1995年下半年以降、『通関統計集』からはベラルーシとの貿易に関する情報が得られないので、これを分析する場合にもロシア統計国家委員会の貿易統計を使う必要がある。しかし、筆者の知る限り、ベラルーシとの貿易に関して、通関統計に匹敵するような商品別データはロシア統計国家委員会によっても公表されていない。第3に、『通関統計集』からは非組織化貿易に関する情報が全く得られない。⁵⁰ もっとも、ロシア統計国家委員会の貿易統計からも、第1表に示した以上の情報は得られない。

II. CIS 諸国との貿易動向

コメコンの崩壊、国内経済の混乱、ソ連の崩壊などの影響により、ロシアの外国貿易は 1991 年に激減し、1992 年にもさらに減少した。第 1 表から分かるように、輸出は 1993 年から増加に転じたが、輸入の方は 1993 年もかなり大幅な減少を記録した。¹¹ CIS 諸国との貿易については、既述のように、1993 年以前は信頼しうるデータがないと言えるが、1991～1992 年にやはり大幅に減少したであろうことは、個別品目のデータなどから推測できる (Tabata, 1994, pp. 449-452)。1994 年以降の CIS 諸国との貿易動向については、第 1 表のデータから次の 3 点が分かる。

- ① CIS 諸国からの輸入は、1994 年以降、外国からの輸入以上に大きく伸びるようになった。¹²
- ② CIS 諸国への輸出は、1994～1995 年に外国への輸出が急増するなかで、伸び悩んだ。
- ③ 1996 年になると、対 CIS 貿易は、輸出入ともに大きく増加し、伸び率では対外国貿易を大きく上回った。

以下では、1995 年以降の CIS 諸国からの輸入の増加、1996 年以降の CIS 諸国への輸出の増加の 2 点について、その原因を探ることにする。

第 2 表は、ロシアと CIS 諸国との貿易を国別に示したものである。¹³ この表から、① 1995 年のロシアの輸入の増加については、ウクライナとカザフスタンだけで 92% まで説明できる、¹⁴ ② 1996 年 1～9 月のロシアの輸入の増加については、ウクライナ、ベラルーシ、カザフスタン、モルドワの 4 カ国で 100% 説明できる、③ 1996 年 1～9 月のロシアの輸出の増加については、ウクライナ、ベラルーシ、ウズベキスタンの 3 カ国で 82% まで説明できる、の 3 点が分かる。

次に、『通関統計集』の国別商品別データを利用して、どのような商品が輸出入の増加に貢献したのかを検討しよう。¹⁵

まず、1995～1996 年の輸入については、食肉、酪農品、白砂糖、アルコール飲料などの食料品、無機化学品、鉄鋼・鉄鋼製品の寄与度が大きい。1995 年については、第 3 表から分かるように、ロシアの輸入増加の半分は食品、農業原料によってもたらされている。そのなかで寄与率の大きいのは、飲料・アルコール類 (商品分類 22 類) = 4.6%、砂糖・砂糖菓子 (17 類) = 4.3% であり、その他の品目では、鉄鋼および鉄鋼製品 (72 および 73 類) = 6.5%、無機化学品等 (28 類) = 2.9% の寄与が大きい。そして、これらの品目については、それぞれウクライナからの輸入増加が大きく貢献していることも同表から分かる。

1996 年 1～9 月については、穀物 (10 類)、鉄鋼 (72 類)、鉄鋼製品 (7304～7305 項)、原油 (2709 項) などの寄与度がそれぞれ 2% を超えているが、増加が特定の品目に集中していないことが特徴となっている。この特徴は、ウクライナからの輸入増加 (寄与度 11.9%) についても同様で、多くの商品によって輸入増大がもたらされている。他方、カザフスタンからの輸入増加 (寄与度 5.1%) は、化学品 (2818 項: 人造コランダム・酸化アルミニウム・水酸化アルミニウム)、原油 (2709 項)、穀物 (10 類) の 3 項目 (寄与度はそれぞれ、2.6%、2.2%、1.8%) でほぼ説明できる。¹⁶ ベラルーシについては、商品別データが全く得られない。

CIS 諸国からの輸入増加については、価格が外国からの輸入品と比べて安価であるという要因

があると考えがちである。しかし、1995～1996年について、CIS諸国と外国からの輸入品価格を比較したデータをみると、アルコール飲料を除く食料品に関しては、必ずしもCIS諸国からの輸入品が安くはなっていない。¹⁷1996年については、食肉、酪農品、白砂糖などに関して、軒並みCIS諸国からの輸入品価格が外国からの輸入品価格を上回っている。

輸入価格が同水準であったとしても、税制面での取り扱いの違いは考慮すべき点である。1993～1996年においては、CIS諸国からの輸入について、輸入関税が適用されておらず、¹⁸また、基本的に付加価値税も適用されていない。これらは、1992年3月13日付で旧ソ連諸国の多くが調印した「関税政策の原則に関する協定」に基づくもので、これによって、輸入関税とそれと同等の税の非課税が決められたのである。付加価値税に関しては、CIS各国は外国への輸出については非課税、CIS諸国への輸出については課税という扱いをしているため、逆に輸入に関しては外国について課税、CIS諸国について非課税となっている。要するに、CIS諸国との取引について国内取引と同様の扱いとなっているのである。¹⁹以上のような税制上の優遇措置、とくに輸入関税の非課税がCIS諸国からの輸入にとって有利に作用したことは間違いないが、1992～1993年から導入されている措置であり、1995～1996年の輸入急増の直接的な要因と考えることはできないように思われる。

次に、1996年1～9月のロシアの輸出を検討する。この時期の輸出増加（増加率は15.2%）の3分の2はウクライナへの天然ガス輸出増大で説明できる。すなわち、それだけでCIS諸国への輸出が対前年比9.1%増加したのである。第5表に示したように、天然ガスの輸出額（うち94%はウクライナ）は5割増加したが、数量は3%の減少となっており、単価が5割以上の上昇となった。すなわち、対CIS輸出増加の半分は、天然ガス輸出価格の上昇によってもたらされたのである。²⁰同表から、1994～1995年には外国と比べて2割程度安かった対CIS輸出単価が、1996年からは外国を上回るようになったことが分かる。²¹このことは、ウクライナとの間での何らかの政策的な措置により、1996年初めから天然ガス輸出価格の引き上げが行われたことを示唆している。1996年におけるロシアの対CIS輸出急増は、この政策的措置によるところが非常に大きいと言える。²²

以上の検討から導き出される暫定的な結論は、①CIS諸国からの輸入については、食料品、化学品、鉄鋼品をはじめとする多くの品目で輸入増加が生じており、しかも、少なくとも2年近くにわたってこれらの品目の輸入増加が継続している、②CIS諸国への輸出については、天然ガスの価格上昇という要因が大きく、輸出増加が継続的な傾向となるのか、現段階では判断できない、の2点である。

それでは、この①に述べたような輸入増加という趨勢は、旧来の企業間取引の復活を意味するものであろうか。筆者は、次の2つの理由により、このような見方に対してはより慎重であるべきだと考える。

第1に、対CIS貿易の活性化の傾向が見えたとは言え、ソ連崩壊前のその大きさと比べると、まだ非常に大きな隔りがある。既述のように、ソ連崩壊前と後を比較し得るような貿易データは存在しないが、外国貿易の大きさと比べることは可能である。第1表と第6表から、CIS諸国の比重は、1994～1996年においてはロシアの輸出で20%、輸入で30%程度であるが、1987～1990

年においてはロシアの輸出で60～65%、輸入で55～57%であったことが分かる。²³

第2に、ロシアとCIS諸国の貿易の現在の商品構成(第7表)をみると、ソ連崩壊前と比べて非常に大きな変化があることが分かる。²⁴まず、ロシアの輸入について1989～1990年と1994～1995年を比較すると、①食料品の比重が10%から20～30%に上昇した、②機械の比重が40%から18～30%に低下した、の2点がもっとも大きな変化である。輸出については、①電力・燃料の比重が30%から45～50%に上昇した、②機械の比重が33%から17～20%に低下した、の2点が大きな変化である。これらの変化は、脚注で述べたように、部分的には価格の変化を反映しているが、かなりの部分は実態の変化を反映していると思われる。とくに、機械の比重が輸出入ともに大きく低下したことは注目に値する。1996年1～9月についても、機械(商品分類84～90類)は輸出入の増加にほとんど寄与していないのである。²⁵ソ連においては、機械工業こそが共和国にまたがる企業間取引の核をなしていたのであり、その部分が極めて低水準になっている現状では、企業間取引の復活を言うことはできないように思われる。

なお、以上の2点については、金額統計では価格の大きな変化の影響を受けるため、数量統計で裏付ける必要がある。石油・天然ガスの輸出に関する第5表のようなデータを集めなければならないが、貿易統計と通関統計とでは商品の定義が一致していないため、1993年以前と1994年以降のデータをうまく接続できないという大問題がある。

結びにかえて

本稿の分析は大半が貿易データに基づくものであるが、ロシアとCIS諸国との取引関係を考察するというような目的にとって、このような限定された方法による分析では不十分であることは言うまでもない。本稿は、貿易に関する統計を利用するだけでどこまで分かるのか、あるいは、どこまでしか分からないのかを明らかにする結果になったのではないと思われる。

マクロ的な観点から必須であるのは、モノの流れに対応するマネーの流れの分析である。ロシアとCIS諸国との取引においては未払問題が大きな問題となっており、これが取引関係の動向にかなり大きな影響を及ぼしている(たとえば、Yakovleva, 1996, p. 1参照)。ロシアのCIS諸国への輸出が、輸入と比べて伸びない大きな原因も、CIS諸国の側からの未払問題があると考えられる。しかし、ロシアの統計においてこのようなマネーの流れをカバーする国際収支表はようやく作成・公表され始めた段階であり、それを用いて分析を行うのは未だ極めて困難な状況である(Uegaki, 1996参照)。このようなマネーの流れに関する分析は今後の課題の1つとしたい。

— 注 —

- 1 この注によれば、旧ソ連・コメコン諸国に対する企業建設に関わる債務履行のための天然ガスの供給は、旧コメコンの枠内で締結された協定のなかで設定された契約価格

によって評価されている (Tamozhennaia, 1996a, p. 3)。

- 2 この月別統計集の貿易データは、「通関統計データに基づき、非組織化貿易の追加補正とパイプライン輸送輸出の修正を考慮したものである」と記されている (Ekonomika, 1996, p. 68)。そして、石油の輸出については「トランスネフチ」社、ガスの輸出については燃料・エネルギー省のデータが使われていることも明記されている (op. cit., p. 70)。
- 3 ベラルーシとの間における通関の廃止は、ロシアとベラルーシとの関税同盟に関する 1995 年 1 月 6 日付協定に基づくもので、同年 5 月 25 日付大統領令第 525 号により政府に対して廃止が指示され (Rossiyskaia gazeta, May 27, 1995, p. 3)、6 月 23 日付政府決定第 583 号により 7 月 15 日までに最終的に廃止された (Sobranie zakonodatel'stva Rossiiskoi Federatsii, No. 26, 1995, pp. 4754-4756)。
- 4 1995 年のロシアの貿易全体の商品別データや対 CIS 貿易の商品別データについても、ベラルーシのデータは総額には含められているが、商品別には分類されていない (Tamozhennaia, 1996a, pp. 9, 17)。この 1995 年の年報では、代わりに、ロシア統計国家委員会の対ベラルーシ主要商品別データが付録として付けられているが (op. cit., pp. 546-549)、1995 年第 3 四半期以降の四半期報では、このような付録もない。
- 5 実際には、この値に国際収支表や GDP の計算を参考に修正が加えられると記されている。
- 6 この文献によれば、国によっては 2000 ドルを超えていることも考慮され、上方に修正されるケースもあるという。1995 年の旅行者数の統計 (Rossiia, 1996a, pp. 446-452) をもとに換算すると、データの得られないベトナムを除く 4 カ国に関わる旅行者数は 282 万 6000 人で、2000 ドルをかけて 57 億ドルとなる。なお、この 2000 ドルという限度額は、1996 年 7 月 18 日付政府決定第 808 号により、同年 8 月 1 日以降 1000 ドルに引き下げられ、1000 ドルを超える場合は 30% の関税 (最低でも 1kg 当たり 4 ECU) を支払うこととなった (Rossiyskaia gazeta, August 7, 1996, p. 5)。
- 7 パーター取引が通関統計で捕捉されていることについては、たとえば、Belov (1996a, p. 2) 参照。
- 8 CIS 統計委員会が加盟国統計国家委員会のデータに基づいて発行したものとして、Vneshneekonomicheskaiia (1994, 1995) などがある。
- 9 ロシア統計国家委員会の月別貿易データは、Interfax Statistical Report, Interfax Foreign Trade Report にも掲載されている。
- 10 Tamozhennaia (1995, p. 3, 1996a, p. 3) には、1994 年と 1995 年のロシア人担ぎ屋による輸入がそれぞれ 35 億ドル、42 億ドルに達したとの推計値が記されているが、第 1 表のデータと比べて、これらの推計値はあまりにも小さすぎるように思われる。
- 11 1993 年の輸入については、非組織化輸入を含むか含まないかによって、かなり減少率が異なる。
- 12 1993 年にも対 CIS 貿易は輸出入ともに著しく増加しているが、既述のように、1993 年

以前の対 CIS 貿易データは信頼性が乏しく、かつ詳細なデータを現時点で入手していないので、本稿では 1993 年については検討の対象としない。

- 13 ベラルーシ、モルドワ、ウクライナ、カザフスタン、ウズベキスタンの 5 カ国でロシアの CIS 諸国との貿易総額の 95% までを占めており、残る 6 カ国の影響力は無視しうる大きさであることが同表から分かる。このうちモルドワは、国の経済規模としては、グルジア、アゼルバイジャンを下回るが (*PlanEcon Report*, 1992, Nos. 11-13)、ロシアとの貿易はこれら 2 カ国を大幅に上回っている。
- 14 本稿において、「寄与度」とは、当該項目の増加が輸出または輸入総額の何%の増加をもたらしたかを示す。たとえば、5%の寄与度とは、当該項目の増加だけで、輸出または輸入総額の 5%の増加が生じたことを意味する。1995 年のロシアの輸入は 31.1%の増加、ウクライナの寄与度は 21.4%、カザフスタンの寄与度は 7.1%であるから、 $(21.4 + 7.1) \div 31.1 \times 100 = 92\%$ となり、ウクライナとカザフスタンだけで 92% まで説明したことになる。
- 15 1995 年下半年以降、『通関統計集』ではベラルーシに関する情報が得られないので、各商品の寄与度を求める際にはベラルーシを除いて計算した。すなわち、1995 年の輸入について分析する際には、1994 年の商品別データからベラルーシの商品別データを控除し、それと 1995 年の商品別データ（ベラルーシが除かれて公表されている）から寄与度を計算した。1996 年 1~9 月の輸出入についても同様に、1995 年 1~9 月の商品別データからベラルーシを控除して寄与度を計算した。
- 16 カザフスタンからの原油の輸入については、1995 年にはそれにほぼ匹敵する額（数量では 2 分の 1）のロシアからの輸出があった。しかし、1996 年 1~9 月においては、ロシアの輸出は金額、数量ともに輸入の半分となっている。
- 17 このデータは通関統計に基づくデータであり、*Statisticheskii biulleten'* (No. 10, 1996, pp. 81-82, No. 16, 1996, p. 104) に掲載されている 1995 年と 1996 年第 1 四半期のデータは、『通関統計集』の金額データを数量データで除したものとはほぼ同一である。1996 年 1~9 月については、*Interfax Foreign Trade Report* (No. 46 and its correction, 1996) の 1996 年 1~9 月貿易データから求められる。
- 18 輸入関税は、1992 年 1 月 15 日付政府決定第 32 号により同日以降すべて廃止されたが、同年 6 月 14 日付大統領令第 630 号により同年 7 月 1 日以降あらためて導入された (*Rossiiskaia gazeta*, January 22, 1992, p. 2, June 19, 1992, p. 5)。CIS 諸国については、1992 年 12 月 14 日付政府決定第 973 号に、CIS 諸国（グルジアを除く）からの輸入に輸入関税を適用しないことが定められている (*Rossiiskaia gazeta*, December 25, 1992, p. 5, Oreshkin, 1993, p. 17)。
- 19 輸入品についての付加価値税は、1992 年 12 月 22 日付連邦法 4178 号により 1993 年 2 月 1 日から適用されることとなった (*Zakon*, No. 3, 1996, pp. 50-57)。しかし、同年 4 月 30 日付最高会議決定 4912 号により、CIS 諸国からの輸入について付加価値税を適用しないことが定められた (*Ibid.*)。1996 年になってからの動きとして、ウクライナが

CIS 諸国への輸出品に対する付加価値税を免除するようになったため、ロシアは、同年 8 月 18 日付大統領令第 1216 号により、ウクライナからの輸入品に対して付加価値税を課すこととした (*Rossiiskaia gazeta*, September 3, 1996, p. 6, Shto, 1996, p. 26, Tsibizova, 1996, p. 42)。なお、物品税については、付加価値税とは異なり、CIS 諸国からの輸入についても適用されているとの記述が多くある (*Ekonomika i zhizn'*, No. 13, 1993, p. 5, Nikonov, 1996, p. 40)。しかし、1996 年 1 月 18 日付大統領令第 64 号により、ウクライナからの輸入品に対して付加価値税と同様の理由で物品税を適用すると定められている。

- 20 この点は、Belov (1996c, p. 2) でも指摘されている。
- 21 同表に示したように、石油の対 CIS 輸出単価は、次第に引き上げられているものの、外国に比べてまだ低い。石油は、対 CIS 輸出数量の落ち込み方がもっと大きく、1995 年の水準は 1990 年の 2 割の水準である。天然ガスの対 CIS 輸出数量は、1995 年は 1992 年の 7 割の水準となっている。
- 22 この政策的措置の背景としては、ウクライナによるガス輸入代金の支払が滞っていることなどからロシア側の立場が非常に強いことが指摘できる。
- 23 第 6 表の原データの出所は、CIS 統計委員会と記されており、Narkhoz SSSR や Narkhoz RSFSR にも一部のデータが公表されていた。既述のように、この時期の共和国別貿易データは仮設的なものであり、このデータは共和国別に作成された産業連関表に基づいている。この文献では、共和国間貿易と外国貿易が国内価格と貿易価格の 2 つの価格で表示されているが、国内価格は世界市場価格と大きく乖離していたので、1994～1995 年のデータと比較する場合には、世界市場価格の近似値として貿易価格建てデータの方を用いるのが適切である。しかし、コメコン諸国や一部の発展途上国との貿易価格は政策的に大幅に引き下げられたものであったから、この貿易価格建てデータは決して世界市場価格建てデータというわけではない。さらに、共和国間貿易データにはバルト三国が含まれていたという違いもある。
- 24 第 7 表のデータも、前注で述べたデータと同じく、産業連関表に基づくデータで、国内価格と貿易価格の 2 つの価格で表示されており、1994～1995 年のデータとの比較には貿易価格建てデータの方が適切である。さらに、このデータは産業連関表のデータであるため、産業分類が貿易統計の商品分類ときちんと対応していないという問題がある。したがって、この意味でも、1994～1995 年データとの比較は、大まかなものとならざるを得ない。さらに、1990 年データはバルト三国を含むソ連構成共和国との貿易のデータ、1994～1995 年データのうち 1995 年データはベラルーシを含まないといった違いもある。
- 25 第 3 表、第 4 表で 1996 年 1～9 月の機械・設備の比重を 1994～1995 年と比較せよ。

参考文献

Belkindas, Misha V. and Ivanova, Olga V. ed., *Foreign Trade Statistics in the USSR and Successor States*, Washington, DC, World Bank, 1995.

Belkindas, Misha V. and Sagers, Matthew J., "A Preliminary Analysis of Economic Relations among Union Republics of the USSR: 1970-1988," *Soviet Geography*, Vol. 31, No. 9, 1990.

Belov, Mikhail, "Barternye sdelki ostaiutsia odnoi iz chernykh dyr vneshnei torgovli (Barter Trade Remains as One of the Black Holes of Foreign Trade)," *Finansovye izvestiia*, May 30, 1996a.

Belov, Mikhail, "Sodruzhestvo: my nuzhny drug drugu (Commonwealth: We Need Each Other)," *Ekonomika i zhizn'*, No. 32, 1996b.

Belov, Mikhail, "Strany blizhnego zarubezh'ia vozrashchaiutsia na rossiiskii rynek (Countries of Near Abroad Are Returning to Russian Market)," *Finansovye izvestiia*, September 26, 1996c.

Brown, Stuart S., and Belkindas, Misha V., "Who's Feeding Whom? An Analysis of Soviet Interpublic Trade," in Joint Economic Committee, U.S. Congress, *The Former Soviet Union in Transition*, Armonk & London, M. E. Sharpe, 1993.

Ekonomicheskie vzaimosviasi soiuznykh respublik v narodnokhoziaistvennom komplekse (Economic Relations of Union Republics in National Economic Complex), Moscow, Goskomstat USSR, 1989.

Ekonomicheskie vzaimosviasi soiuznykh respublik v narodnokhoziaistvennom komplekse v 1989 godu (Economic Relations of Union Republics in National Economic Complex in 1989), Moscow, Goskomstat USSR, 1990.

Ekonomicheskie vzaimosviasi stran-chlenov SNG i privalitiiskikh gosudarstv (Economic Relations of Member States of the CIS and Baltic States), Moscow, Goskomstat RF, 1992.

Ekonomika Rossii: ianvar'-oktiabr' 1996 g. (Economy of Russia: January-October of 1996), Moscow, Goskomstat RF, 1996.

Goskomstat RF and World Bank, *Rossiiskaia Federatsiia: Doklad o natsional'nykh schetakh (Russian Federation: Report on the National Accounts)*, Moscow, Goskomstat RF, September 1995a.

Goskomstat RF and World Bank, *Russian Federation: Report on the National Accounts*, Moscow and Washington, DC, Goskomstat RF and World Bank, October 1995b.

Kuboniwa, Masaaki, "The Structure of Russian Foreign Trade in Transition," *Hitotsubashi Journal of Economics*, Vol. 35, 1994.

Metodologicheskie polozheniia po statistike (Methodological Regulations on Statistics), Moscow, Goskomstat RF, 1996.

Mezhgosdarstvennye ekonomicheskie sviazi Rossiiskoi Federatsi, 1992 (Interstate Economic Relations of the Russian Federation. 1992), Moscow, Goskomstat RF, 1992.

Mezhgosdarstvennyi obmen produktsiei proizvodstvenno-tekhnicheskogo naznachenii i potrebitel'skimi tovarami (Interstate Exchanges of Production Goods and Consumer Goods), Moscow,

Statkomitet SNG, 1993.

Mezhgosdarstvennyi obmen produktsiei proizvodstvenno-tekhnicheskogo naznachenii v 1991 g. (Interstate Exchanges of Production Goods in 1991), Moscow, Statkomitet SNG, 1992a.

Mezhgosdarstvennyi obmen tovarami narodnogo potrebleniia v 1991 g. (Interstate Exchanges of Consumer Goods in 1991), Moscow, Statkomitet SNG, 1992b.

Narkhoz RF, Narodnoekhoziaistvo RF (RSFSR) v 19XX g. (National Economy of the RF (RSFSR) in 19XX), Moscow, Goskomstat RF (RFSFR), 19XX.

Narkhoz SSSR, Narodnoye khoziaistvo SSSR v 19XX g. (National Economy of the USSR in 19XX), Moscow, Goskomstat USSR, 19XX.

Nikonov, Aleksandr, "Peremeshchenie tovarov v Tamozhennom soiuze (Transfer of Goods in Customs Union)," *Ekonomika i zhizn'*, No. 21, 1996.

Oreshkin, B., "Importnyi rezhim Rossiiskoi Federatsii (Import Regime of the Russian Federation)," *Ekonomika i zhizn'*, No. 14, 1993.

Orlowski, Lucjan T., "Indirect Transfers in Trade Among Former Soviet Union Republics: Sources, Patterns and Policy Responses in the Post-Soviet Period," *Europe-Asia Studies*, Vol. 45, No. 6, 1993.

Rossii i strany mira (Russia and Countries of the World), Moscow, Goskomstat RF, 1996a.

Rossii v tsifrakh. 1996 (Russia in Figures. 1996), Moscow, Goskomstat RF, 1996b.

Rossiiskaia Federatsiia v 1992 godu (The Russian Federation in 1992), Moscow, Goskomstat RF, 1993.

Rossiiskii statisticheskii ezhegodnik. 1994 (Russian Statistical Yearbook. 1994), Moscow, Goskomstat RF, 1994.

Rossiiskii statisticheskii ezhegodnik. 1995 (Russian Statistical Yearbook. 1995), Moscow, Goskomstat RF, 1995.

Sagers, Matthew, "Regional Aspects of the Soviet Economy," *PlanEcon Report*, Vol. 7, Nos. 1-2, 1991.

"Shto izmenil Ukaz Prezidenta No. 1216 (What Did Change Presidential Decree No. 1216)," *Ekonomika i zhizn'*, No. 39, 1996.

Tabata, Shinichiro, "The Anatomy of Russian Foreign Trade Statistics," *Post-Soviet Geography*, Vol. 35, No. 8, 1994.

Tarr, David G., "The Terms of Trade effects of Moving to World Prices on Countries of the Former Soviet Union," *Journal of Comparative Economics*, Vol. 18, No. 1, 1994.

Tamozhennaia statistika vneshnei torgovli Rossiiskoi Federatsii: Godovoi sbomik 1994 god (Customs Statistics of Foreign Trade of the Russian Federation: 1994 Yearbook), Moscow, GTK (Gosudarstvennyi tamozhennyi komitet) RF, 1995.

Tamozhennaia statistika vneshnei torgovli Rossiiskoi Federatsii: Godovoi sbomik 1995 god (Customs Statistics of Foreign Trade of the Russian Federation: 1995 Yearbook), Moscow, GTK RF, 1996a.

Tamozhennaia statistika vneshnei torgovli Rossiiskoi Federatsii: Byulleten' I kvartal 1996 goda

(Customs Statistics of Foreign Trade of the Russian Federation: 1996 First Quarter Bulletin), Moscow, GTK RF, 1996b.

Tamozhennaia statistika vneshnei trgovli Rossiiskoi Federatsii: Byulleten' II kvartal 1996 goda (Customs Statistics of Foreign Trade of the Russian Federation: 1996 Second Quarter Bulletin), Moscow, GTK RF, 1996c.

Tamozhennaia statistika vneshnei trgovli Rossiiskoi Federatsii: Byulleten' III kvartal 1996 goda (Customs Statistics of Foreign Trade of the Russian Federation: 1996 Third Quarter Bulletin), Moscow, GTK RF, 1996d.

Trofimenko, Zinaida, "Vneshnetorgovyi oborot vozros (Foreign Trade Turnover Increased)," *Ekonomika i zhizn'*, No. 42, 1996.

Tsibizova, Ol'ga, "Ukrainskie tovary i NDS (Ukrainian Goods and VAT)," *Ekonomika i zhizn'*, No. 48, 1996.

Uegaki, Akira, "Is Russia Getting into the International Financial Market? : An Analysis of the Balance of Payments Statistics," paper presented at the International Symposium on July 24-27, 1996 at the Slavic Research Center, Hokkaido University.

Vneshneekonomicheskaiia deiatel'nost' gosudarstv Sodruzhestva v 1993 g. (Foreign Economic Activities of the States of the CIS in 1993), Moscow, Statkomitet SNG, 1994.

Vneshneekonomicheskaiia deiatel'nost' gosudarstv Sodruzhestva. 1994 (Foreign Economic Activities of the States of the CIS. 1994), Moscow, Statkomitet SNG, 1995.

Watson, Robin A., "Interrepublic Trade in the Former Soviet Union: Structure and Implications," *Post-Soviet Geography*, Vol. 35, No. 7, 1994.

Yakovleva, Irina, "Vmeste tesno, a vroz' trudno (Together Tightly, Difficult to be Separated)," *Ekonomika i zhizn'*, No. 24, 1996.

(第1表) ロシアの貿易動向

	貿易額 (10億ドル)						構成比 (%)						対前年同期比増加率 (%)			
	1992	1993	1994	1995	1995 1-9	1996 1-9	1992	1993	1994	1995	1995 1-9	1996 1-9	1993	1994	1995	1996 1-9
ロシア統計国家委員会貿易統計																
非組織化貿易を含む貿易																
輸出総額	53.6	59.6	68.1	81.6	...	64.3	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	11.2	14.3	19.8	9
外国	42.4	44.3	53.2	66.0	...	51.0	79.1	74.3	78.1	80.9	81.7	79.3	4.5	20.0	24.2	6
CIS諸国	11.2	15.3	14.9	15.6	...	13.3	20.9	25.7	21.9	19.1	18.3	20.7	36.6	-2.6	4.7	24
輸入総額	43.0	44.3	50.5	60.8	...	47.2	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	3.0	14.0	20.4	11
外国	37.0	32.8	36.9	44.1	...	32.9	86.0	74.1	73.1	72.5	73.1	69.7	-11.3	12.5	19.5	6
CIS諸国	6.0	11.5	13.6	16.7	...	14.3	14.0	26.0	26.9	27.5	26.9	30.3	91.7	18.3	22.8	25
貿易収支	10.6	15.3	17.6	20.8	16.2	17.1	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
外国	5.4	11.5	16.3	21.9	17.0	18.1	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
CIS諸国	5.2	3.8	1.3	-1.1	-0.8	-1.0	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
非組織化貿易を含まない貿易																
輸出総額	53.6	59.2	67.4	80.4	...	...	100.0	100.0	100.0	100.0	...	...	10.4	13.9	19.2	...
外国	42.4	44.3	53.2	66.0	...	...	79.1	74.9	78.8	82.2	...	...	4.5	20.0	24.2	...
CIS諸国	11.2	14.9	14.3	14.3	...	...	20.9	25.1	21.2	17.8	...	...	32.5	-4.2	0.6	...
輸入総額	43.0	36.1	38.6	46.6	...	...	100.0	100.0	100.0	100.0	...	...	-16.1	7.1	20.6	...
外国	37.0	26.8	28.3	33.1	...	...	86.1	74.4	73.3	71.1	...	...	-27.5	5.6	17.0	...
CIS諸国	6.0	9.2	10.3	13.5	...	...	13.9	25.6	26.7	28.9	...	...	54.5	11.5	30.5	...
貿易収支	10.6	23.1	28.8	33.8	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
外国	5.4	17.5	24.8	32.9	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
CIS諸国	5.2	5.6	3.9	0.9	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
非組織化貿易																
輸出総額	...	0.4	0.7	1.2	...	...	...	...	...	...	...	...	...	62.4	81.4	...
外国	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
CIS諸国	...	0.4	0.6	1.3	...	...	...	...	...	...	...	...	...	52.9	96.7	...
輸入総額	...	8.2	11.9	14.2	...	...	...	100.0	100.0	100.0	...	...	...	44.1	19.6	...
外国	...	6.0	8.6	11.0	...	...	...	72.8	72.3	77.1	...	...	...	43.0	27.7	...
CIS諸国	...	2.3	3.3	3.2	...	...	...	27.3	27.7	22.9	...	...	...	46.1	-1.2	...
貿易収支	...	-7.8	-11.2	-13.0	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
外国	...	-6.0	-8.6	-11.0	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
CIS諸国	...	-1.8	-2.6	-2.0	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
ロシア国家関税委員会通関統計																
輸出総額	...	...	63.3	78.3	56.5	60.7	...	...	100.0	100.0	100.0	100.0	...	...	23.7	7.4
外国	...	...	49.2	63.7	46.2	48.8	...	...	77.7	81.4	81.7	80.4	...	...	29.5	5.7
CIS諸国	...	...	14.1	14.6	10.3	11.9	...	...	22.3	18.6	18.3	19.6	...	...	3.4	15.2
輸入総額	...	...	38.7	46.7	32.9	34.7	...	...	100.0	100.0	100.0	100.0	...	...	20.7	5.5
外国	...	...	28.3	33.2	23.9	23.5	...	...	73.3	71.0	72.5	67.7	...	...	17.0	-1.5
CIS諸国	...	...	10.3	13.5	9.1	11.2	...	...	26.7	29.0	27.5	32.3	...	...	31.1	23.7
貿易収支	...	...	24.6	31.6	23.6	26.0	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
外国	...	...	20.9	30.6	22.3	25.3	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
CIS諸国	...	...	3.8	1.0	1.3	0.7	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...

(出所)

Ekonomika, 1996, pp. 68-77.

Rossiya, 1996b, pp. 141-142, 144.

Rossiyskiy, 1995, p. 429.

Tamozhennaya, 1996a, pp. 5, 13, 1996b, p. 5, 1996c, p. 5, 1996d, p. 5.

(第2表) ロシアとCIS諸国との貿易

	1994	1995	1995	1996	1994	1995	1996	1995	1996	1995	1996
	1-12	1-9	1-12	1-9	1-12	1-12	1-9	1-12	1-9	1-12	1-9
貿易額 (100万ドル)	構成比 (%)				対前年同期比 増加率 (%)				対前年同期比 寄与度 (%)		
輸出											
CIS全体	14081.5	10346.9	14561.7	11924.6	100.0	100.0	100.0	3.4	15.2	3.4	15.2
ベラルーシ	3102.6	2088.3	2940.0	2528.7	22.0	20.2	21.2	-5.2	21.1	-1.2	4.3
モルドバ	541.8	284.9	413.2	300.8	3.8	2.8	2.5	-23.7	5.6	-0.9	0.2
ウクライナ	6700.5	5138.5	7149.0	5728.3	47.6	49.1	48.0	6.7	11.5	3.2	5.7
アゼルバイジャン	174.9	49.6	85.6	122.8	1.2	0.6	1.0	-51.1	147.6	-0.6	0.7
アルメニア	154.5	83.8	127.2	86.6	1.1	0.9	0.7	-17.7	3.3	-0.2	0.0
グルジア	63.4	29.0	48.9	72.3	0.5	0.3	0.6	-22.9	149.3	-0.1	0.4
カザフスタン	2198.4	1835.0	2586.0	1979.1	15.6	17.8	16.6	17.6	7.9	2.8	1.4
キルギスタン	103.9	67.9	104.7	118.9	0.7	0.7	1.0	0.8	75.1	0.0	0.5
タジキスタン	143.3	142.5	190.1	110.2	1.0	1.3	0.9	32.7	-22.7	0.3	-0.3
トルクメニスタン	111.9	66.3	93.1	70.7	0.8	0.6	0.6	-16.8	6.6	-0.1	0.0
ウズベキスタン	786.1	561.0	824.0	806.3	5.6	5.7	6.8	4.8	43.7	0.3	2.4
輸入											
CIS全体	10317.2	9058.9	13525.0	11208.5	100.0	100.0	100.0	31.1	23.7	31.1	23.7
ベラルーシ	2094.1	1377.6	2087.7	1956.7	20.3	15.4	17.5	-0.3	42.0	-0.1	6.4
モルドバ	475.8	407.1	636.0	625.5	4.6	4.7	5.6	33.7	53.6	1.6	2.4
ウクライナ	4404.2	4325.3	6616.6	5403.7	42.7	48.9	48.2	50.2	24.9	21.4	11.9
アゼルバイジャン	141.2	71.3	107.4	103.4	1.4	0.8	0.9	-23.9	45.0	-0.3	0.4
アルメニア	53.2	50.5	75.1	51.2	0.5	0.6	0.5	41.2	1.4	0.2	0.0
グルジア	52.6	34.8	57.9	44.3	0.5	0.4	0.4	10.1	27.3	0.1	0.1
カザフスタン	1996.2	1818.6	2726.4	2282.1	19.3	20.2	20.4	36.6	25.5	7.1	5.1
キルギスタン	97.9	75.5	101.1	96.9	0.9	0.7	0.9	3.3	28.3	0.0	0.2
タジキスタン	90.0	130.2	167.0	64.7	0.9	1.2	0.6	85.6	-50.3	0.7	-0.7
トルクメニスタン	60.4	82.5	60.8	88.0	0.6	0.4	0.8	0.7	6.7	0.0	0.1
ウズベキスタン	851.8	685.4	888.7	492.0	8.3	6.6	4.4	4.3	-28.2	0.4	-2.1

(出所)

Tamozhennaya, 1996a, pp. 5-7, 1996b, pp. 5-11, 1996c, pp. 5-11, 1996d, pp. 5-11.

(第3表) ロシアのCIS諸国からの輸入商品構成・寄与度

商品グループ名	分類番号	構成比 (%)												寄与度 (%)		
		CIS			CIS 除ペ'ラール			CIS 除ペ'ラール			CIS 除ペ'ラール			CIS 除ペ'ラール	ロシア	独'ラール
		1994	1994	1994	1994	1994	1994	1994	1994	1994	1994	1994	1994			
総額	1-97	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	31.1	21.4	7.1
食品、農業原料	1-24	20.1	22.2	29.0	28.3	20.6	31.7	9.0	14.3	11.8	14.5	11.5	2.0	14.5	11.5	2.0
食肉	2	2.1	1.8	2.9	2.7	2.7	3.4	1.0	3.6	3.0	1.8	1.0	0.8	1.8	1.0	0.8
酪農品	4	1.1	0.8	1.9	1.9	1.3	0.2	0.3	0.3	2.1	1.5	1.4	0.9	1.5	1.4	0.9
穀物	10	1.1	1.4	1.9	3.6	0.0	0.2	3.8	6.3	0.0	1.0	0.1	0.0	4.3	4.1	0.0
砂糖・砂糖菓子	17	3.0	3.6	6.5	6.3	6.5	10.7	0.1	0.1	0.4	4.3	4.1	0.0	4.3	4.1	0.0
飲料・酒類	22	4.8	5.4	8.0	5.3	4.7	8.9	0.4	0.1	2.3	4.6	3.7	-0.1	4.6	3.7	-0.1
その他	上記以外の1-24	8.1	9.1	7.7	9.4	5.4	5.4	3.5	3.7	4.0	1.3	1.2	0.3	1.3	1.2	0.3
鉱物性生産物	25-27	16.5	18.1	14.6	12.5	10.7	5.4	48.1	46.3	10.1	1.8	-1.1	2.9	1.8	-1.1	2.9
鉱石	26	4.0	5.0	3.8	1.7	4.8	1.8	9.9	11.5	0.0	0.2	-0.9	1.1	0.2	-0.9	1.1
鉱物性燃料	27	11.2	11.7	9.8	9.6	4.5	2.4	36.2	33.4	9.4	1.5	-0.4	1.8	1.5	-0.4	1.8
化学品	28-40	7.1	7.0	9.4	11.7	8.9	11.2	6.0	10.2	7.6	4.9	3.4	1.5	2.9	3.4	1.5
有機化学品	28	1.7	2.0	4.0	6.5	1.7	3.4	3.7	8.3	0.6	2.9	1.5	1.5	2.9	1.5	1.5
皮革原料・製品	41-43	0.3	0.2	0.2	0.1	0.2	0.1	0.2	0.1	0.8	-0.0	0.0	-0.0	-0.0	0.0	-0.0
木材・紙・パルプ	44-49	0.8	0.5	0.7	0.7	0.7	1.0	0.1	0.1	2.2	0.4	0.3	0.0	0.4	0.3	0.0
繊維、履物	50-67	8.7	8.0	6.8	4.5	1.9	1.7	1.6	0.9	11.7	1.2	0.3	0.8	1.2	0.3	0.8
金属、宝石	71-83	14.4	16.8	18.9	19.2	16.6	19.6	27.0	22.8	5.1	7.5	5.5	0.5	7.5	5.5	0.5
鉄鋼	72	7.5	9.0	10.2	10.1	8.5	10.2	17.3	14.5	1.5	4.1	2.9	0.5	4.1	2.9	0.5
鉄鋼製品	73	3.6	4.1	5.1	6.7	6.5	8.0	1.6	1.4	2.0	2.4	1.3	0.1	2.4	1.3	0.1
機械・設備	84-90	28.6	25.0	18.5	16.0	37.7	27.0	6.6	4.5	42.7	0.6	0.8	-0.0	0.6	0.8	-0.0
機械	84	10.3	9.5	7.2	6.7	13.6	10.4	3.6	2.5	13.5	0.5	0.8	-0.0	0.5	0.8	-0.0
電気機器	85	6.1	5.5	3.7	3.6	6.9	4.6	1.3	1.0	8.2	-0.3	-0.0	0.0	-0.3	-0.0	0.0
輸送手段	86-89	11.6	9.5	7.1	5.3	16.2	11.5	1.4	0.8	20.3	0.4	0.4	-0.1	0.4	0.4	-0.1
その他	68-70, 91-97	3.4	2.2	1.9	2.0	2.7	2.2	1.5	0.8	8.1	0.3	0.3	-0.1	0.3	0.3	-0.1

(出所) Tamozhennaya statistika, 1995, 1996a, 1996b, 1996c, 1996d.

(第4表) ロシアのCIS諸国への輸出商品構成

(構成比 %)

商品グループ名	分類番号	CIS									
		1994	1994	1995	1996	1997	1994	1995	1994	1995	1994
総額	1-97	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
食品、農業原料	1-24	3.6	3.9	3.2	3.7	1.8	1.8	1.1	4.4	5.9	2.8
鉱物性生産物	25-27	53.5	52.6	48.8	52.0	63.2	60.8	39.0	33.2	56.5	56.5
鉱石	26	0.9	1.1	1.7	1.2	0.5	0.8	0.4	0.5	0.0	0.0
鉱物性燃料	27	61.9	50.7	45.9	49.7	61.6	58.5	37.7	31.6	56.0	56.0
化学品	28-40	9.4	9.0	10.3	9.6	7.3	8.2	13.0	12.3	10.9	10.9
無機化学品	28	1.5	1.6	1.7	1.9	0.6	0.8	4.8	3.8	1.1	1.1
ゴム・同製品	40	2.3	2.4	3.2	3.3	2.4	3.1	2.6	2.4	1.9	1.9
皮革原料・製品	41-43	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
木材・紙・パルプ	44-49	3.2	3.4	3.8	3.6	2.6	3.1	3.5	3.7	2.4	2.4
紙・板紙	48	1.4	1.3	2.0	1.7	1.1	2.0	1.0	1.4	1.7	1.7
繊維、廃物	50-67	2.8	2.9	2.6	2.1	2.1	2.0	3.2	2.1	2.7	2.7
金属、宝石	71-83	8.6	8.7	9.2	8.5	4.6	5.9	13.8	12.2	8.2	8.2
鉄鋼	72	3.4	3.1	3.3	3.0	2.0	2.5	5.0	3.5	4.5	4.5
鉄鋼製品	73	2.0	2.2	2.9	2.9	0.8	1.0	5.1	6.3	1.3	1.3
機械・設備	84-90	17.0	17.4	20.2	17.8	16.8	17.4	20.1	21.1	15.5	15.5
機械	84	6.9	7.0	9.1	8.0	7.2	8.5	6.9	6.4	6.3	6.3
電気機器	85	4.3	4.1	4.3	3.7	3.7	3.8	4.9	4.5	5.2	5.2
輸送手段	86-89	5.2	5.7	6.1	5.5	5.2	4.5	7.9	9.7	3.4	3.4
その他	68-70, 91-97	1.8	2.0	1.8	2.5	1.6	1.2	3.0	2.5	0.9	0.9

(出所) Tamozhennaya statistika, 1995, 1996a, 1996b, 1996c, 1996d.

(第5表) ロシアの石油・天然ガス輸出動向

		1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1995 1-9	1996 1-9
石油	数量(100万t)	...	...	225.3	162.5	137.7	122.6	129.8	127.4	82.5	85.3
	外国	125.0	115.0	99.0	56.5	66.2	79.9	91.7	100.4	72.0	76.8
	C I S 諸国	...	...	126.3	106.0	71.5	42.7	38.0	27.0	10.5	8.5
	ベラルーシ	...	...	37.5	35.1	19.7	12.4	12.5	11.4	...	...
	ウクライナ	...	...	61.9	46.9	33.5	16.9	14.1	11.4	7.6	5.8
	カザフスタン	...	...	18.6	12.1	11.5	8.5	9.1	4.1	1.8	2.6
	ウズベキスタン	...	...	4.5	5.5	4.1	4.0	2.0	0.1	0.1	...
	金額(100万 ^円)	...	...	...	...	...	...	11334.8	13298.0	8813.6	10507.6
	外国	...	...	...	5030.7	8545.0	8370.0	9112.5	11005.3	7861.4	9738.5
	C I S 諸国	...	...	...	...	...	...	2222.2	2292.7	952.2	769.0
	ベラルーシ	...	...	...	...	...	...	732.8	895.1	...	...
	ウクライナ	...	...	...	...	...	...	907.0	947.6	640.0	511.7
	カザフスタン	...	...	...	...	...	...	381.4	441.0	202.9	257.4
	ウズベキスタン	...	...	...	...	...	...	180.3	9.0	9.0	...
	単価	...	...	...	...	...	...	87.3	104.4	106.8	123.2
天然ガス	数量(10億m ³)	...	...	...	172.6	188.6	171.0	184.3	194.2	135.9	134.6
	外国	88.0	102.0	96.0	89.6	87.9	96.0	109.4	123.4	93.8	93.8
	C I S 諸国	...	...	...	83.0	100.7	75.0	75.0	70.8	42.1	40.9
	ベラルーシ	...	...	...	...	17.7	16.2	14.3	13.5	...	...
	モルドワ	...	...	...	...	3.4	3.1	3.0	3.0	2.0	2.3
	ウクライナ	...	...	...	...	78.0	54.7	56.7	52.8	39.1	36.6
	カザフスタン	...	...	...	...	1.7	1.2	0.7	1.5	0.9	1.8
	金額(100万 ^円)	...	...	...	...	...	...	10354.5	12122.6	8569.1	9902.0
	外国	...	...	...	6383.7	7479.0	7443.0	6570.2	8540.9	6460.9	6779.5
	C I S 諸国	...	...	...	...	...	...	3784.3	3581.7	2108.2	3122.5
	ベラルーシ	...	...	...	...	...	...	736.1	712.5	...	...
	モルドワ	...	...	...	...	...	...	232.7	175.8	115.7	137.7
	ウクライナ	...	...	...	...	...	...	2801.7	2676.0	1984.4	2926.0
	カザフスタン	...	...	...	...	...	...	7.6	17.5	8.0	48.0
	単価	...	...	...	...	...	...	56.2	62.4	63.1	73.6
天然ガス	外国	...	...	...	71.2	85.1	77.5	60.1	69.2	68.9	72.3
	C I S 諸国	...	...	...	...	...	...	50.5	50.6	50.1	76.3
	ベラルーシ	...	...	...	...	...	...	51.5	52.8	...	...
	モルドワ	...	...	...	...	...	...	77.6	58.6	57.9	59.9
	ウクライナ	...	...	...	...	...	...	49.4	50.7	50.8	79.9
	カザフスタン	...	...	...	...	...	...	10.9	11.7	8.9	26.7

(備考) 単価は金額を数量で除した計算値。

1995年と1996年の1-9月はベラルーシを含まない。

(出所) Mezghosdarstvennyy, 1992, pp. 34-35, 1993, pp. 16-17.

Narkhoz RF, 1989, p. 644, 1990, p. 47, 1991, p. 59, 1992, p. 56.

Rossiyskaya, 1993, p. 57.

Rossiyskiy, 1994, pp. 431, 438, 1995, p. 438.

Tamozhennaya, 1995, pp. 95-97, 1996a, pp. 97-98, 546, 1996b, pp. 28-29, 1996c,

pp. 28-29, 1996d, pp. 28-29.

(第6表) ロシアの共和国間貿易と外国貿易

輸出	金額						構成比 (%)					
	1987	1988	1989	1990	1991		1987	1988	1989	1990	1991	
総額	外国貿易ルーブル (100万ルーブル)											
共和国間	140543.1	132707.0	141019.2	132991.7	...	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	...	...
外国	85149.6	79647.9	88450.2	86523.6	...	60.6	60.0	62.7	65.1	...	...	...
総額	55393.5	53059.1	52569.0	46468.1	...	39.4	40.0	37.3	34.9	...	...	...
共和国間	国内ルーブル (100万ルーブル)											
外国	102711.2	102537.7	109608.0	106795.4	167842.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
共和国間	70855.3	69224.2	75068.0	74711.0	136800.0	69.0	67.5	68.5	70.0	81.5	81.5	81.5
外国	31855.9	33313.5	34540.0	32084.4	31042.0	31.0	32.5	31.5	30.0	18.5	18.5	18.5
輸入	外国貿易ルーブル (100万ルーブル)											
総額	99259.0	101868.5	108917.7	103267.1	...	100.0	100.0	100.0	100.0	...	...	...
共和国間	56682.0	55765.5	60193.5	56760.7	...	57.1	54.7	55.3	55.0	...	...	...
外国	42577.0	46103.0	48724.2	46506.4	...	42.9	45.3	44.7	45.0	...	...	...
総額	国内ルーブル (100万ルーブル)											
共和国間	131471.1	135865.1	144267.5	142562.8	166396.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
外国	67206.8	68963.9	70669.0	67283.0	105000.0	51.1	50.8	49.0	47.2	63.1	63.1	63.1
外国	64264.3	66901.2	73598.5	75279.8	61396.0	48.9	49.2	51.0	52.8	36.9	36.9	36.9

(出所) Belkindas & Ivanova, 1995, pp. 164-167.

(第7表) ロシアの対共和国・CIS貿易の商品構成

部門分類	1988a	1989a	1989b	1990a	(構成比 %)				商品分類	分類番号
					1990b	1991a	1994	1995		
輸出総額	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	輸出総額	
食品工業、農業	4.2	4.4	1.7	4.5	1.8	2.5	3.6	3.2	食品、農業原料	1-24
建設資材工業	1.7	1.7	1.4	1.5	1.3	1.5	2.0	2.5	石、陶磁器、ガラス	25, 68-70
	...	...	...	...	...	...	0.9	1.7	鉱石	26
電力・燃料工業	12.2	13.7	26.5	13.0	29.8	16.5	51.9	45.9	鉱物性燃料	27
化学工業	11.9	12.1	7.8	12.2	8.8	11.4	9.4	10.3	化学品	28-40
その他工業	2.8	2.8	2.3	3.5	1.9	4.2	0.1	0.1	皮革原料・製品	41-43
木材・紙・パルプ工業	6.0	5.1	2.8	5.0	3.2	5.5	3.2	3.8	木材・紙・パルプ	44-49
軽工業	9.2	9.7	2.4	10.0	2.6	13.7	2.8	2.6	繊維・履物	50-67
	...	...	...	...	...	...	1.4	0.8	貴金属、宝石	71
鉄鋼業	7.8	8.0	7.5	7.8	7.8	6.7	5.4	6.2	鉄鋼・同製品	72-73
非鉄金属工業	4.4	4.2	5.5	4.4	6.4	4.6	1.7	2.1	非鉄金属・同製品	74-83
機械工業	39.2	35.1	39.2	34.9	33.4	30.5	17.1	20.3	機械・設備	84-93
その他	0.6	3.3	2.9	3.1	2.9	3.0	0.4	0.3	雑品	94-97
輸入総額	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	輸入総額	
食品工業、農業	24.8	22.8	9.2	23.2	10.1	27.2	20.1	29.0	食品、農業原料	1-24
建設資材工業	1.1	1.1	1.3	1.2	1.4	1.0	1.3	1.1	石、陶磁器、ガラス	25, 68-70
	...	...	...	...	...	...	4.0	3.8	鉱石	26
電力・燃料工業	3.4	3.6	7.7	4.4	11.3	4.9	11.2	9.8	鉱物性燃料	27
化学工業	9.0	8.4	7.4	8.3	8.2	7.6	7.1	9.4	化学品	28-40
その他工業	1.6	1.6	1.9	2.1	1.7	1.8	2.1	1.4	皮革原料・製品	41-43
木材・紙・パルプ工業	1.2	0.7	0.6	1.0	0.9	1.3	0.8	0.7	木材・紙・パルプ	44-49
軽工業	16.8	17.7	7.0	16.6	7.2	18.4	8.7	6.8	繊維・履物	50-67
	...	...	...	...	...	...	0.6	0.7	貴金属、宝石	71
鉄鋼業	9.2	8.8	12.2	8.8	12.5	8.1	11.1	15.2	鉄鋼・同製品	72-73
非鉄金属工業	2.3	2.3	3.9	2.4	4.8	4.0	2.7	2.9	非鉄金属・同製品	74-83
機械工業	30.2	29.7	45.1	30.8	40.5	24.6	28.7	18.6	機械・設備	84-93
その他	0.5	3.3	3.9	1.2	1.5	1.0	1.6	0.6	雑品	94-97

(備考)

1988～1991年データは左側の部門分類により、1994～1995年は右側の商品分類による。

1988～1991年は対共和国貿易データ、1994～1995年は対CIS貿易データ (1995年はベラルーシを除く)。

aは国内価格建て、bは貿易価格建てデータ。

(出所)

Narkhoz RF, 1990, pp. 32-33, 1991, pp. 32-35.

Rossiyskaya, 1993, pp. 38-39.

Tamozhennaya, 1995, 1996a.

Vestnik statistiki, No. 3, 1990, p. 39.

Watson, 1994, p. 384.